

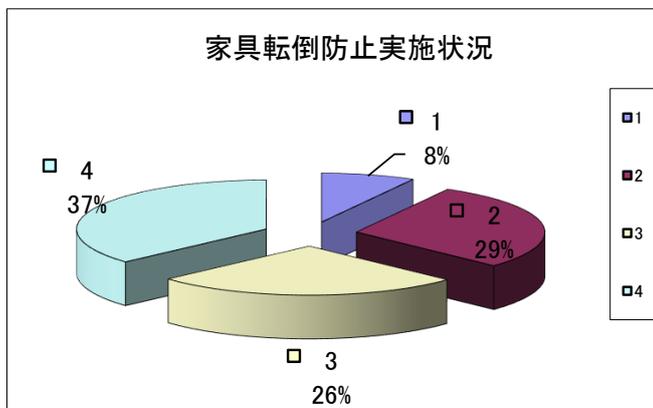
第3回家具転倒防止アンケート調査（20年11月実施）の報告

平成16年10月に第1回の調査をし、隔年に行って来ております。

家具転倒防止実施世帯は若干増えて全体の37%までになりました。

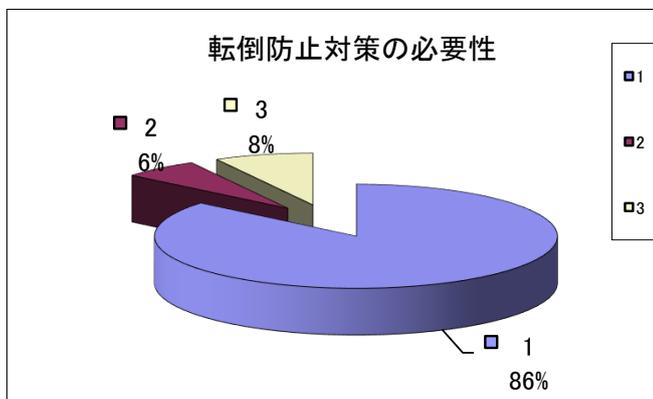
中央防災会議の家具転倒防止の目標は60%です。

震災時の室内の家具転倒による被災事故が死傷者総数の30%になっています。



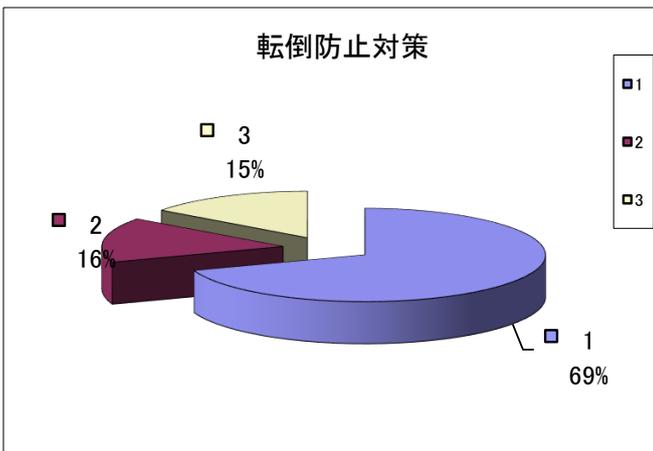
- 1 全部やっている (8%)
- 2 一部やっている (29%)
- 3 未だやっていない (26%)
- 4 未回答 (37%)

一部を含め37%の世帯で実施



- 1 した方が良い (86%)
- 2 しない (6%)
- 3 わからない (8%)

転倒対策の必要性は高く意識されています。前回も同様です。



- 1 自分で出来る (69%)
- 2 自分では出来ない (16%)
- 3 業者に依頼 (15%)

3の業者に頼む世帯が139世帯、その内103世帯の方が工事を希望されております。

地域防災拠点訓練

平成21年1月18日（日）地域防災拠点避難訓練が行われました。深谷台小学校を地域拠点にしている県・市ハイツ、レジ戸塚、アークプラザ戸塚、深谷町の一部が参加して当日10時地震発生の想定とともに各自治会、町内会が独自の訓練を行い、地域防災拠点に避難を行いました。

①各戸地震対応訓練、②安否確認訓練、③防災拠点への避難訓練、④災害対策本部設置訓練

⑤地域防災拠点への本部要員派遣等の諸訓練を約2時間に亘り参加住民協力の下に行われました。消防署は別件緊急出動があったため、煙体験ハウスは中止となりましたが、希望者は学校内の備蓄品を見学しました。（最後の段にリストを掲載）訓練避難者総勢534名。うち県ハイツは297名でした。消防署からは、避難は人員の把握、整列、報告が整然と手際よくされて良かったと講評をいただきました。

第一集会所前集合



整列して非難中



深谷台小学校グラウンド集合



災害対策本部長挨拶



地域防災拠点に備蓄している
防災資材の品目・数量

H21. 1. 18現在

区分	品目	数量	品目	数量	品目	数量
食料水	乾パン	3,000食	粉ミルク・哺乳瓶	40セット	おかゆ	200缶
	水缶詰	3,000缶				
生活用品	高齢者用紙おむつ	210枚	乳児用紙オムツ	1,350枚	生理用品	425個
	トイレット・ペーパー	192巻	移動式炊飯器	1台	ガスかまどセット	1セット
救護用品	リヤカー	2台	グラブシート	10枚	毛布	20枚
	テント型トイレ	2基	パック式トイレ	6セット	ろ水機	1台
	給水用水槽	1個	松葉杖	5組	保温用シート	50枚
救助用品	発電機	5台	投光機	5台	担架	10本
	ポール	10本	つるはし	5本	大ハンマー	5本
	スコップ	5本	ロープ	5本	てこ棒	5本
	大ポール	5本	ワイヤーカッター	5本	大なた	5本
	のこぎり	5本	金属梯子	1本	ハンドマイク	2個
	エンジンカッター	2台	油圧ジャッキ	1台	掛矢	2個
	ヘルメット	10個				

家具転倒防止講習会と 展示会のお知らせ

日 時：3月29日(日)
10時～12時
場 所：県集会所洋室

- ・講習会と転倒防止の実演
- ・転倒防止工事受付
- ・防災グッズの展示と販売

防災通信は防災ファイルへ綴じて
保存してください